

社会資本総合整備計画

平成29年3月15日

計画の名称	1 鶴巻温泉駅南口周辺地区における歩行空間のバリアフリー化（防災・安全）	重点計画の該当	○
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度（1年間）	交付対象	秦野市
計画の目標	本地区は、小田急線で南北、さらに県道により東西に分断された地区で、朝夕のラッシュ時には、駅に近接し遮断時間が長い踏切があるため、危険な踏切横断をしない歩行者動線を確保し、駅利用者数を適正に南北に分散する必要があります。そのため、駅前広場を含んだ周辺都市基盤を整備することにより、誰もが安心して安全に歩けるバリアフリー化を実施し、交通結節点としての機能を強化するものです。		

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 鶴巻温泉駅の南北利用者数の適正化 駅前広場整備により、乗合自動車の定時運行の確保。 立体横断施設の整備により、伊勢原15号踏切の乱横断者の防止
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
鶴巻温泉駅利用者数の分散化。 鶴巻温泉駅南口改札口利用者数の朝ピーク時を測定する。	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	311人/ピーク時	-	510人/ピーク時	
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
鶴巻温泉駅南口広場から発着する乗合自動車の定時運行。 駅前広場整備の効果として、乗合自動車の定時運行本数における踏切影響を受ける運行本数の割合を測定する。 （鶴巻温泉駅南口交差点～鶴巻温泉駅北口広場を運行する踏切影響を受ける乗合自動車の運行本数を測定し評価する）	30%	-	11%	
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
伊勢原15号踏切の乱横断者数（歩行者数/朝ピーク時） 伊勢原15号踏切の朝ピーク時における乱横断者を測定する。	237人/ピーク時	-	130人/ピーク時	
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,162百万円	A	1,162百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.00%
-------	--------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---	------	-----------------------------	-------

交付対象事業

A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
												H29	H30	H31	H32	H33			
1-A1	街路	一般	秦野市	直接	秦野市	S街路	改築	0.55	都市計画道路 曾屋鶴巻線(駅前広場)	駅前広場 A=2,300㎡	秦野市						1,162		
												合計	1,162						

B 関連社会資本整備事業(該当なし)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考		
											H29	H30	H31	H32	H33				
												合計	0						

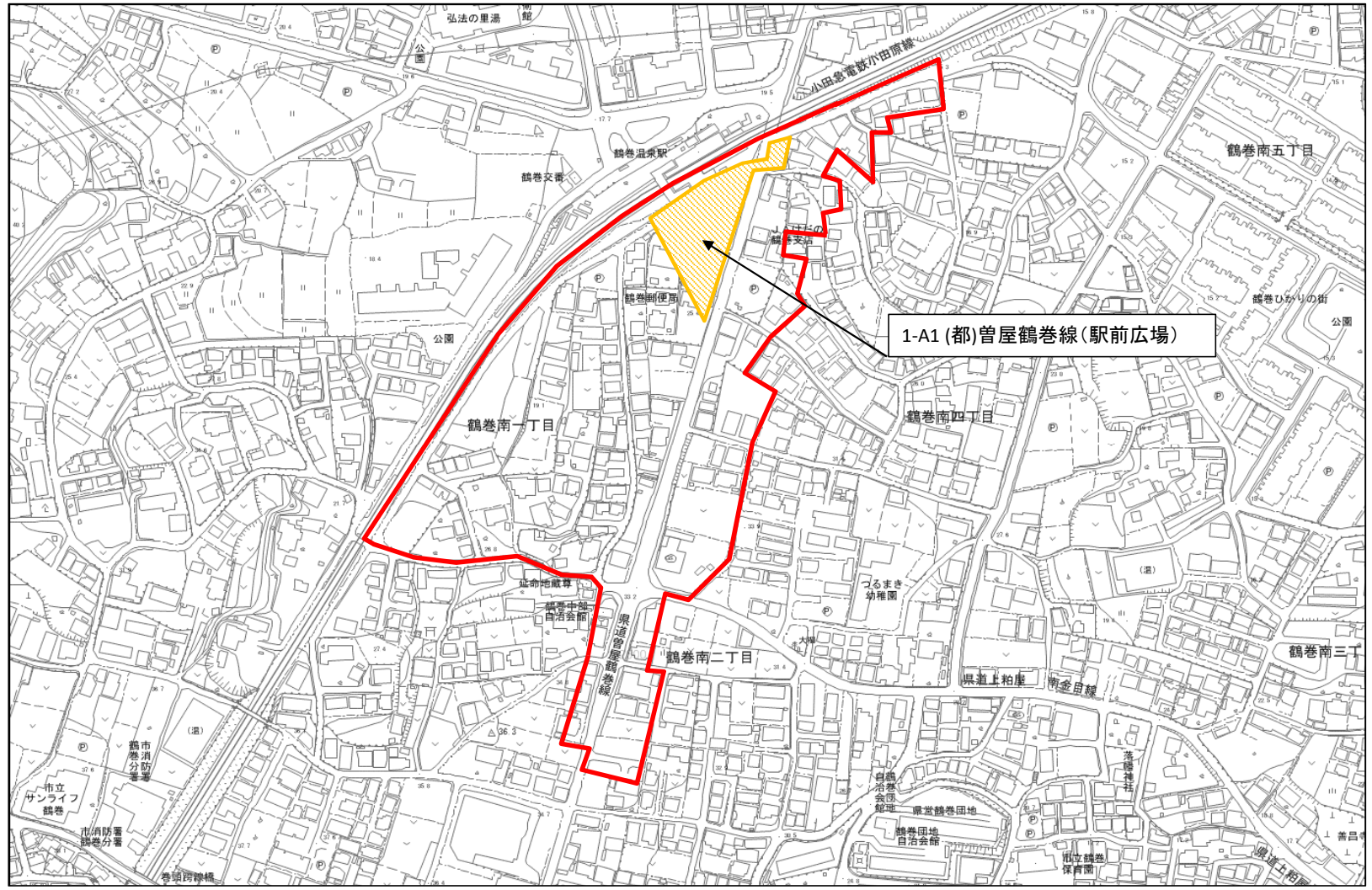
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考		
											H29	H30	H31	H32	H33				
												合計	0						

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考				
									H29	H30	H31	H32	H33						
												合計	0						

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

計画の名称	1 鶴巻温泉駅南口周辺地区における歩行空間のバリアフリー化（防災・安全）	交付対象	秦野市
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度（1年間）		



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 1. 鶴巻温泉駅南口周辺地区における歩行者空間のバリアフリー化(防災・安全)
事業主体名: 秦野市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○